

学習指導要領		都立瑞穂農芸高校 学カスタンダード
(1) 暮らしと農業	ア 食と農業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国における農業就業人口の現状を知り、主な課題について理解する。</li> <li>・我が国における耕地面積の推移について知り、農地法の改正により、株式会社やNPO法人などに農地を貸し付けることができるようになったことを理解する。</li> <li>・農産物流通の仕組みを知り、食品の安全性や信頼性を高める取組（トレーサビリティなど）について理解する。</li> </ul>
	イ 生活と農業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業には、食料供給機能や環境保全機能とともに、アメニティ保全機能や対人サービスの機能など多面的な役割があることを理解する。</li> </ul>
	ウ 環境と農業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系並びに生態系における物質循環について知り、農業が生態系や物質循環と大きなかかわりをもつことを理解する。</li> </ul>
	エ 農業の動向と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「食料・農業・農村基本法」制定の背景を知り、その基本理念について理解する。</li> <li>・我が国における食料自給率（カロリーベース）の現状を知り、主な課題について理解する。</li> <li>・食料自給、人間生活による廃棄物に由来する問題、生物多様性の喪失などの持続可能な社会をつくる上での課題を知り、環境保全型農業について理解する。</li> </ul>



学習指導要領		都立瑞穂農芸高校 学カスタンダード
(3) 環境の調査・保全・創造	ウ 育成環境の要素	<p>処理することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気象的要素、土壌的要素、生物的要素など農業生物の育成環境について知り、育成環境の各要素が農業生物の生育に影響を及ぼすことを理解する。</li> </ul>
	エ 農業生産物の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業生産物を原料とした主な加工食品について知り、農業生産物の良否が食品や加工原料の良否に関係することを理解する。</li> </ul>
	オ 農業生産の計画・管理・評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培や飼育に関するプロジェクトにおいて、計画の作成、観察、記録と分析、まとめと評価などを行うことができる。</li> </ul>
	ア 環境の調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物の個体、植物群落や分布などの調査方法について知り、植物個体の生育が気候的要因、土壌的要因及び人為的要因に影響を受けることを理解する。</li> </ul>
	イ 環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林が大気浄化や国土保全機能、生物・生態系保全機能、アメニティ保全機能をもつことを理解する。</li> </ul>
	ウ 環境の創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑地が大気汚染や騒音防止及び生活快適性の保持の機能をもつことを理解する。</li> </ul>

学習指導要領		都立瑞穂農芸高校 学カスタンダード
(4) 農業学習の特質 農業学習と学校農業クラブ活動	ア 農業学習の特質  イ プロジェクト学習  ウ 学校農業クラブ活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業生物の育成や環境の保全などの農業学習の特質について理解し、栽培・飼育や環境保全など実際的な学習を継続して実施することができる。</li> <li>・プロジェクト学習の方法について理解し、栽培・飼育や環境調査を主体的、計画的に実施することができる。</li> <li>・学校農業クラブ活動の目標、内容、組織、歴史、現状及び実践方法について理解し、主体的、自律的に学習することができる。</li> </ul>